

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第91号

[2017年1月号]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第91号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

クラウドファンディング目標達成のお礼

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



クラウドファンディング目標達成のお礼

【396万4000円が集まりました！】

タイ・ミャンマー国境の街に設立された、総合診療所「メータオ・クリニック」
13万人のミャンマー移民の命を支えるため、看護ケアスタッフを育てたい！



たくさんの応援ありがとうございました！

昨年末より会報やイベントを通じてみなさまにお願いさせていただいていた READY FOR での挑戦「看護ケア人材育成プロジェクト」。多くのみなさまからの応援をいただき、目標金額を超える3,964,000円のご支援をいただくことができました！

ご支援くださったみなさま、情報を広めてくださった方々、本当にありがとうございました！

ずっと思い続けてきた「メータオ・クリニックの看護」を日本のみなさまとともに作り上げられることに、大きな喜びとやる気を感じています。同時に、お一人おひとりからいただいた期待と応援に、強い責任も感じています。みなさまのお気持ちに応えられるように、事業の実施に全力を注ぎたいと思います。育成研修の様子は、会報やフェイスブックを通じて、随時お伝えしていきます。引き続き、成長していく「未来の看護ケアスタッフたち」を応援いただけましたら、嬉しいです。

改めまして、応援くださった皆様に当会メンバー一同、心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました！

メソトマンスリー

【メソト＝神谷 友子】



最近のメソット

新年明けましておめでとうございます。



振り返ってみると、去年はメータオ・クリニックにとって、新クリニックへの引っ越しがあったり、新しく看護スタッフ養成のトレーニングを始めたりと、たくさんのチャレンジがあった年であったと思います。その大きな変化の中で、現地でクリニックのスタッフや、他の国から来ているボランティア、支援者の人たちと一緒に活動できたことはとても貴重な経験をさせて頂いたと思います。

昨年11月末の活動報告会に帰国して

久しぶりに会う方々から「向こうはどうだった？」と聞かれることが多いのですが、なかなか一言で答えることは難しく、自分の中で改めて振り返ってみました。

現地において、いろいろ感じたことはあるのですが、一番は教育の大切さです。

ヤンゴンなどの都市部では、学校が終わった後に塾のような所で勉強して進級試験に臨むこどもがいる一方で、地方や少数民族の村では地域に学校がなかったり、家庭が貧しいためにこどもも働かなければならず、教育の機会が平等に与えられていないと感じました。栄養改善のプロジェクトでミャンマー国内の学校を訪問した際に、保護者に対してどれだけ栄養に関する知識があるのかを見るためのミニテストを実施した時には、配布した紙に書いてあるミャンマー語の文字が読めない大人も少なくありませんでした。タイの農村部にある移民学校では、こどもは多いほど良いとされる風習の元で、10人ものこどもを産み、食事や教育を十分与えられていない状況がありました。こどもだけではなく、大人に対しても家族計画や健康教育は必要です。また、クリニックのスタッフにしても、医療現場で働くにあたっての知識や技術が十分であるとは言えません。ミャンマー国内でも医師や看護師などのメディカルの人材は不足しています。地方のヘルスセンターには医師が不在の場所もあります。民主化されて日々発展しているミャンマーですが、ミャンマー国内でいろいろな制度やインフラが整って、必要な教育が行き届くにはまだまだ長い年月がかかることと思います。

昨年からは難民キャンプの住民が少しずつミャンマー国内へと帰還を始めました。難民キャンプに暮らす人だけでも10万人、キャンプの外に移民としてタイに暮らすミャンマー人はさらに多くいます。すぐにはミャンマーの祖国へ帰ることができず、国境で医療を必要とするミャンマーの人が減ることはありません。

このような状況の中で、メータオ・クリニックが果たしている役割は大きく、クリニックの医療レベルの底上げによって多くの患者さんが救われます。今回 readyfor さんを通じて本当にたくさんのご支援を頂きありがとうございます。メータオ・クリニックへの看護教育はこれからです。その場だけにならないように、現地スタッフが後輩の育成ができるようなシステムの構築が必要だと思っています。

国内から

【東京＝竹内】

皆様、新年明けましておめでとうございます。私は正会員の竹内と申します。いつも JAM をご支援下さり誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

少し JAM の活動とは離れますが、今回私が専門診療科として日頃扱っている糖尿病につい



て、タイ・ミャンマー国境を訪れた際感じた事を書きたいと思います。

私は2013年の1月、1ヶ月程メソトに滞在し、JAMのプロジェクトもお手伝いしつつ、Mae Tao Clinicの内科診療にも関わらせて頂きました。内科外来には通常の外来の他に、結核などの感染症外来、そして、高血圧や糖尿病を診る慢性外来があります。私は主に通常外来を見学しながら、メディックと診療方針のディスカッションをしたり、精密検査（と言っても可能だったのは簡易エコーだけでしたが）を施行したりしていました。

1日だけ、自分の専門でもある慢性疾患の外来を見せて頂いたのですが、今でも覚えている一番驚きだったことは、まず使用可能な糖尿病薬（内服）が2種類しかない、ということです。ここはうる覚えで恐縮なのですが、インスリンもあるにはありましたが、入院患者のみで、外来処方不可でした。更に血液検査も基本は出来ませんので、簡易血糖測定器による血糖測定のみです。

メディックの発言もとても示唆的でした。患者リストを見せられ、糖尿病は女性の方が多い、と言うのです。なるほど、確かにリストには女性の方が多いのですが、疫学的には同程度いるはずですので、実際には男性は未受診が多い、というのが正解でしょう。患者さん何名かと話をしましたが（通訳してもらいました）、皆、特に男性は、病識が甘い。症状が無いので受診しなくてもいいだろうと思ったり、また、田畑の仕事をしているから動いているし糖尿病にならないよ、と言う人もいました。尚、Mae Tao Clinicでは下肢切断、義足の手術も行っていますが、内戦が激しかった頃は、地雷被害による義足が多かったものの、現在は糖尿病の進行に伴う足壊疽が主要な原因と聞いています。恐らく、水田での仕事の際、そこから感染してしまうのだろうと思います。

皆様にぜひ知って頂きたい点は、糖尿病は過去には飽食、贅沢の病気だ、というイメージもありましたが、現在は世界中あらゆる国、地域で増加している疾患であるということです。そして、実は先進国においても、貧困世帯でより罹患率が高いということも分かっています。前述の通り、通院を継続する困難さを考えると、教育がある程度されており、金銭的にも余裕のある人でしか疾患に向き合うのが難しいのだろうと痛感しております。

糖尿病や高血圧に関しては多くの薬剤が使用可能となっており、特に日本では保険診療にて安価に入手可能となっています。しかし、実は世界ではそのような薬も手に入らない地域が多いのも事実だと思いますし、そう考えると、生活習慣病をいかに治療する、より、いかにして未然に防ぐか、これが喫緊の課題であると考えている次第です。

賛助会員の皆様へ 会員更新のお願い

平素よりメータオ・クリニック支援の会（JAM）の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。再三のお願いで恐縮ですが、賛助会員の更新手続きがまだお済みでない皆様へ更新のご案内をさせていただきます。

すでにご更新くださいました皆様におかれましては、誠にありがとうございます。

継続的にご支援くださいます皆様のおかげで JAM はこれまで活動を続けることができました。今後も多くの皆様に引き続きご支援を賜りたく、ご賛同いただける方は下記の要領にて会員更新の手続きを宜しくお願いいたします。

ご不明な点がございましたら事務局 (support@japanmaetao.org) までお問い合わせください。



更新の対象となる方：平成27年7月～平成28年6月までに入会および更新いただいた皆様
会員期間は平成28年12月末をもちまして終了となります。
更新いただける場合は、お手数ですが平成29年1月末までに手続きをお願いいたします。
更新後の会員期間は**平成29年12月末まで**となります。

すでに会員期間が過ぎてしまった皆様におかれましても、新たに賛助会員としてご支援いただけましたら大変有り難く存じます。手続きの方法は同じです。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きはご不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

■下記の年会費をお振込みください。

ホームページ (www.japanmaetao.org) からクレジットカード決済も可能です。

「あなたとできること」→「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

<年会費> 一般会員： 3,650円/年
学生会員： 1,825円/年
法人会員： 36,500円/年

<振込先口座>

ゆうちょ銀行（銀行コード9900）

支店名：〇一八（ゼロイチハチ）

口座名義：NPO法人 メータオ・クリニック支援の会
（カタカナ） トクヒ）メータオ クリニックシエンノカイ

口座番号：10140-8960841

*他行からのお振込みの場合 普通 0896084

※ 当会が入金の確認をもって手続き完了となります。メールにてお知らせいたします。

■注意事項

・住所、氏名、メールアドレスに変更がある場合、振込名義がご本人でない場合は、事務局 (support@japanmaetao.org) までご連絡ください。

※ 期限を過ぎてからご入会される場合は、ホームページより新規の方法でお手続きください。

編集後記

このたびは、クラウドファンディングにご賛同いただきまして本当にありがとうございました。強気の目標金額にしてしまったと、もう、ジャスティンビーバーにでも拡散してもらわないと達成できないんじゃないかと思ってあきらめそうになったこともあったのですが、無事に達成することができて感謝の気持ちでいっぱいです。

ここからががんばりどころです。賛同してご支援してくださったたくさんの皆様のお気持ちを忘れずにがんばりますので、どうぞ引き続き応援をどうぞよろしくお願い致します。



